



まちがど トピックス



■プールの季節がやってきた！

7月14日にオープンしたアクアパークきらめき（桜ヶ丘町4の7）では、連日多くの家族連れやグループでにぎわっています。オープン初日は好天に恵まれ、訪れた人たちは、浮き輪を使って泳いだり、とっぴーが描かれた大きなバケツから流れ落ちる水しぶきを楽しんだりしていました。同プールは、8月31日（金）までオープン（8月1日（水）は正午まで）していますので、ぜひご来場ください。※利用料金（2時間）は、大人（高校生以上）200円、小・中学生100円、幼児（小学生未満）無料。



■「目で見る言葉」を学ぶ

6月19日、中央公民館で、「手話一日入門教室～目で見る言葉～」が開催されました。

教室は、資料を目で追うのではなく、ろう者の先生の手話を見ながら進められ、参加者は身振りや口話を交えて手話を学んでいました。今回、初めて手話を学んだ参加者に話を聞くと、「最近地震もあったので、そういうときに聴覚に障がいのある人の力になれるように手話の勉強を続けたいと思います」と話してくれました。

■答えは寺内町のなかに

6月23日、じないまちバファローズ謎解きゲームが催され、雨にもかかわらず95人が参加しました。これは7月21日、22日に開催された富田林ドリームフェスティバルのプレイイベントとして企画されたもので、重要伝統的建造物群保存地区である富田林寺内町に隠された言葉を探するというもの。参加者らはユニフォームに身を包み、ヒントを頼りに歴史情緒ある町並みを巡りながら謎解きにチャレンジしていました。



写真とともに見る6月～7月のできごと



■初めてのブドウ狩り

7月8日、農業公園サバーファームで、今年もブドウ狩りが始まりました。この日がブドウ狩り初体験という小さな子どもも、保護者に抱えてもらいながらブドウの収穫を楽しんでいました。同ファームでは、ヒムロツト（7月中旬～8月上旬）、紫玉（8月上旬～下旬）、藤稔（8月下旬～9月上旬）、ベリーA（9月上旬～下旬）など、さまざまな品種のブドウ狩りを9月の下旬まで楽しむことができます。

■おいしそうなお店がいっぱい

7月13日～15日、市内で、「富田林まるごとバル！」が開催されました。各参加店では、チケットと引き換えにさまざまな特別メニューが提供され、参加者は飲食店や小売店で食事や買い物をしたり、5カ所の参加店を巡ることで参加できるガラポン抽選会に挑戦したりしていました。期間中は暑い日が続きましたが、寺内町では、お目当てのお店を探しながら散策を楽しんでいる家族連れの姿も見掛けられました。



■いざ！全国の舞台へ！

7月3日、平成30年度全国高等学校総合体育大会（テニス）に、大阪代表として出場する、神村学園高等部（単位制・広域通信制）大阪富田林学習センターの小村 喜一さん、戎 七星さん、村口 皓亮さんが市役所を訪れました。3人は毎日4～5時間の練習をされているようで、全国大会への意気込みを聞かれると、主将の小村さんは「一球一球を大切に、優勝をめざして頑張りたい」と力強く話してくれました。

■歌声楽しく美しく

7月11日、第41回全日本おかあさんコーラス関西支部大阪大会で優秀団体に選ばれ、全国大会出場予定の女声コーラスヴィオレッタに所属する3人が、市役所を表敬訪問しました。

ヴィオレッタは合唱団体としては少人数の15人で構成されており、いつも和気あいあいと練習されているそうです。

多田市長は「全国大会での活躍を期待しています」と3人を激励しました。

